

2022年度～

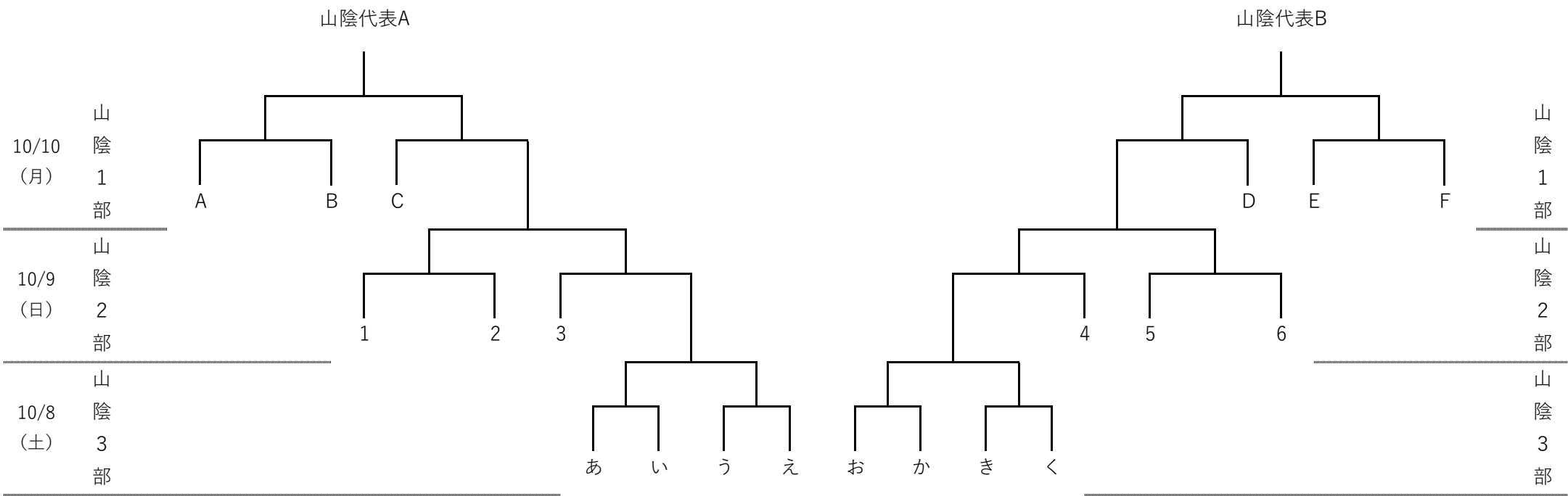
ジュニアウインターカップ（全国U15バスケットボール選手権大会） 京都府予選会 および U15リーグ 実施形態について

[JBAより、ジュニアウインターカップの都道府県代表チームの決定のための指針]

- ・ U15リーグへの出場が、予選会に出場する条件
 - ・ 上記対象全チームに京都府代表の1チームになれる可能性がある大会形式であること
- 以上を踏まえ、下記試合形式での京都府予選会を実施する。

Term 1

各沿線リーグで試合を実施し、沿線リーグ代表2チームを決定する



- ・ 8月末にU15リーグの申し込みが終わり、その後、このトーナメントの抽選を行う。
- ・ スポーツの日を含む3連休に各チームの体育館等で行う。
- ・ 下部の勝ち上がりチームが上部のチームと試合を行う。
- ・ 最終的に沿線リーグの代表チームが2チーム決まる。
- ・ 4沿線リーグの代表2チームはトップリーグへの参加権を得る。

(トップリーグの試合により、ジュニアウインターカップへの出場権を得る)

- ・ Term1の同リーグ同部内の対戦結果は、後のU15リーグの対戦結果として取り扱う。

※何部編成になるかは、その年の各沿線リーグの参加チーム数によって変動する。

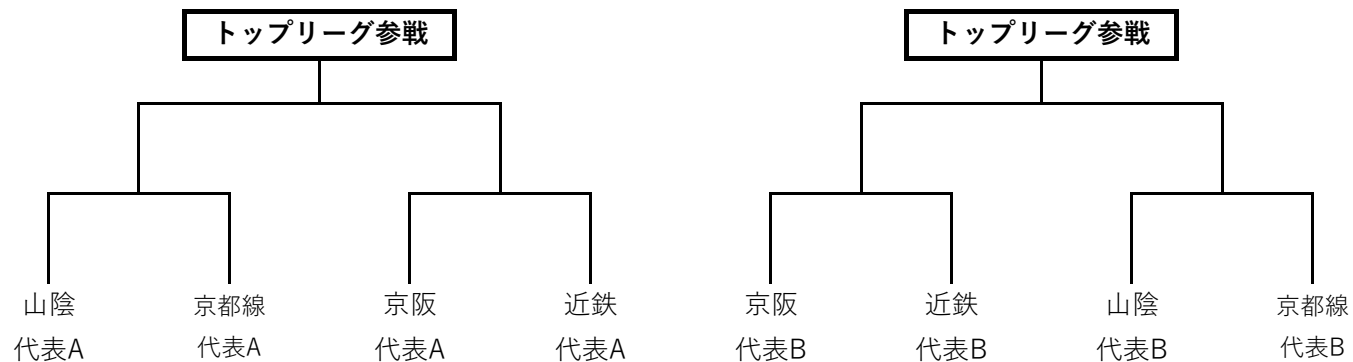
Term 2

各沿線リーグ代表チームによる試合を実施し、トップリーグに参戦する2チームを決定する

2023年度以降、前年度トップリーグの成績上位6チームは、Term 3から参戦となる。

この試合は、トップリーグ8チーム編成とするために、その年度のトップリーグ（Term 3）に参戦する2チームを決める試合となる。

※初年度（2022年度）は、4沿線各代表2チームがトップリーグ（Term 3）参戦となるので実施しない



Term 3

トップリーグ8チームによる試合を実施し、ジュニアウィンターカップ出場チームを決定する

- ・ 8チームを4チームずつに分けてリーグ戦を実施する（Xリーグ・Yリーグ）。
 - ・ X・Y各上位2チーム同士でのリーグ戦を実施（同リーグの対戦成績は持ち越し）し、トップリーグNo.1を決定する（ジュニアウィンターカップ出場権獲得）。
 - ・ X・Y各下位2チーム同士でのリーグ戦を実施（同リーグの対戦成績は持ち越し）し、トップリーグ7位、8位を決定する（次年度、元の所属沿線リーグのTerm 1の試合からスタート）
- ※上位6チームは次年度、トップリーグ（Term 3）から参戦する。

Xリーグ					Yリーグ					上位リーグ					下位リーグ				
	①	④	⑤	⑧		②	③	⑥	⑦		X1	X2	Y1	Y2		X3	X4	Y3	Y4
①					②					X1		済			X3		済		
④					③					X2	済				X4	済			
⑤					⑥					Y1				済	Y3				済
⑧					⑦					Y2			済		Y4			済	

1日目（11月19日（土））

9:00	① ○ ⑧	④ ○ ⑤
10:10	② ○ ⑦	③ ○ ⑥
11:20	① - ⑧	④ - ⑤
12:30	② - ⑦	③ - ⑥
13:40	⑤ ○ ①	⑧ ○ ④
14:50	⑥ ○ ②	⑦ ○ ③
16:00	⑤ - ①	⑧ - ④
17:10	⑥ - ②	⑦ - ③

2日目（11月20日（日））

9:00	① ○ ④	① - ④
10:10	② ○ ③	② - ③
11:20	⑤ ○ ⑧	⑤ - ⑧
12:30	⑥ ○ ⑦	⑥ - ⑦
14:40	X3 ○ Y4	X3 - Y4
15:50	X4 ○ Y3	X4 - Y3

3日目（11月23日（水祝））

9:00	Y3 ○ X3	Y4 ○ X4
10:10	X1 ○ Y2	X2 ○ Y1
11:20	X1 - Y2	X2 - Y1
12:30	Y3 - X3	Y4 - X4
13:40	Y1 ○ X1	Y2 ○ X2
14:50	Y1 - X1	Y2 - X2

← モデルケース
試合順等に変更になる
可能性があります

U15リーグ

- ・ Term 1 終了後、各沿線リーグの1～3部の試合を実施する（Term 1 の対戦結果はリーグ戦の対戦成績として取り扱う）

日程：11月20日（日）、23日（水祝）、12月11日（日）、18日（日）

- ・ 次年度のリーグ編成は、各リーグの最終結果によって決定する（1部の下位2チームと2部の上位2チーム、2部の下位2チームと3部の上位2チームは順位を入れ替える）。

※Term 1 の対戦結果ではなく、リーグ戦としてのトータルの対戦結果にて順位をつける。